

7月例会 「お出かけサロン」－7月22日シンポジウム報告

【日時・会場】2001年7月22日(日)13:00～16:30 横浜市スポーツ医・科学センター大研修室→949(くしきゅう)

【参加者(会員)】荒井義行 内田正人 宇都宮徹壺 鶴木恵介 梅本嗣 浦和俊介 北岡真幸 五香純典 小島裕範 坂下佳弘 笹原勉 鈴木崇正 竹原典子 田中俊也 田中理恵 長岡茂 中塚義実 広瀬一郎 宮崎雄司 村林裕 山田告人

【参加者(非会員だが月例会等参加経験あり)】浅野智嗣 麻生征宏 江川純子 数源一郎 片岡麻衣子 竹沢徳剛 野上龍哉

【参加者(その他)】多数。全体で85名参加。懇親会も約半数が参加

コンフェレーションズカップ総括シンポジウム

当日は、サロン2002フットサルプロジェクトメンバーのみならず、プロジェクト外のメンバー、あるいは後援団体であるソシオ・フリエスタや日本サポーター協会、横浜国際総合競技場ボランティアの皆さん等、非常に多くの方にお手伝いいただくことができた。「組織」を超えて連携を保つことが不可欠だと思った。

当日の進行状況は以下のとおり。内容については後日、改めて報告したい。

11:00 スタッフ集合・演者打ち合わせ・会場準備等

12:30 受付開始

13:00～16:30 シンポジウム

13:05 主催者挨拶・シンポジウム趣旨説明(中塚)

13:15 プレゼン1…運営側からみたコンフェレーションズカップの成果と課題(長岡茂)

13:50 プレゼン2…ボランティアからみたコンフェレーションズカップの成果と課題(竹原典子)

14:30 プレゼン3…市民団体からみたコンフェレーションズカップの成果と課題(小島裕範)

15:00～15:15 コーヒーブレイク…自由に意見交換。質問票を提出

15:15 ディスカッション…質問票をもとに、会場全体で以下のテーマについて意見交換した

- 1) スタジアム内の観客とサポーターについて…チケット問題とセキュリティ
- 2) ボランティアについて…研修と位置づけの問題
- 3) 祭空間としてのスタジアム外について…何ができるか、何をしようとしているか

16:30 まとめ(各演者および司会)

16:40 閉会

17:30 懇親会(移動できる人から先に行ってウォーミングアップ)

【会計報告】

収入…参加費 1,000×85 名	85,000
支出…会場使用料	23,100
謝礼／交通費	57,100
残金	4,800(4800 円の余剰金は、報告書作成会計に組込まれる予定です)

【今後の進め方】

「ワールドカッププロジェクト1」の課題は、総括シンポジウムを行って意見を得ることに、報告書を作成して関係機関に配布・啓蒙することにあつた。シンポジウムが終わった今、次に取り組むのは「報告書」の作成である。

現在、テープ起こしを依頼してやってもらっているところであり、それが上がってくる 8 月上旬に、関係者で集まって報告書の体裁や内容について議論することになっている。報告書は、本シンポジウムの内容だけでなく、それを補足するための記事、いろんな立場の方からの特別寄稿などを含めた内容の濃いものを 8 月末～9 月上旬までには作成したい。

シンポジウムが参加者からの参加費で運営されていたのと同様、報告書は、それに賛同する個人・団体からの賛助金を頂戴して作成する。そこで、賛助金を再再度募集したい。

【賛助金】

報告書は、主旨に賛同してくださる個人または団体からの「賛助金」で作成いたします。「賛助金」は一口 5,000 円とし、拠出していただいた方のお名前を報告書に掲載させていただくことで、賛助の気持ちに込めたいと思います。

さらに、4 口(2 万円)以上の「賛助金」をいただいた個人や団体には、報告書への広告掲載も可能とさせていただきます。大きさの目安は以下の通りです。

A 4 版 1 ページ(表紙裏、裏表紙裏)…	5 万円以上
A 4 版 1 ページ(その他のページ) …	5 万円
A 4 版 1 / 2 ページ	3 万円
A 4 版 1 / 3 ページ	2 万円

「賛助金」をお出しいただける個人または団体は、事務局へご連絡いただいた上で、下記口座へお振込みください。よろしくお願いいたします。

富士銀行板橋支店 2 0 7 6 2 0 7 サロン 2002 プロジェクト代表中塚義実